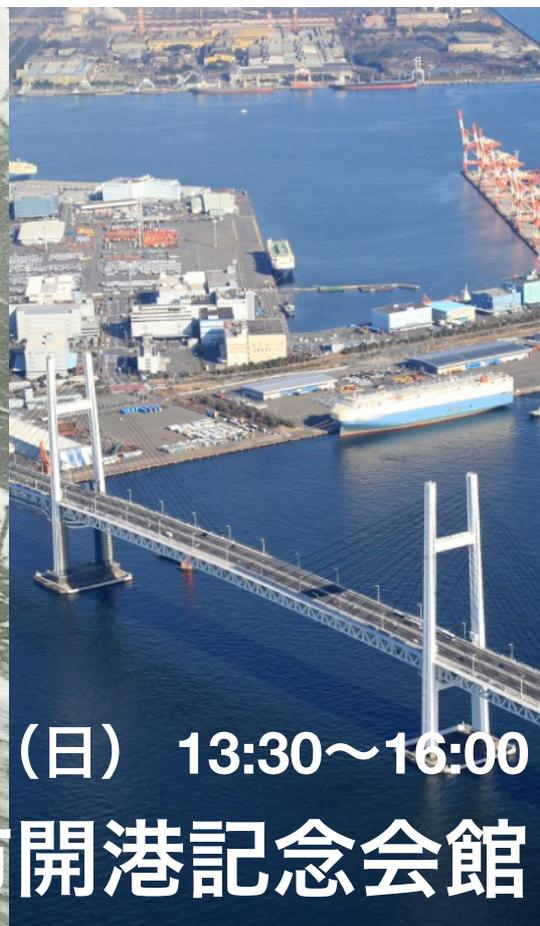
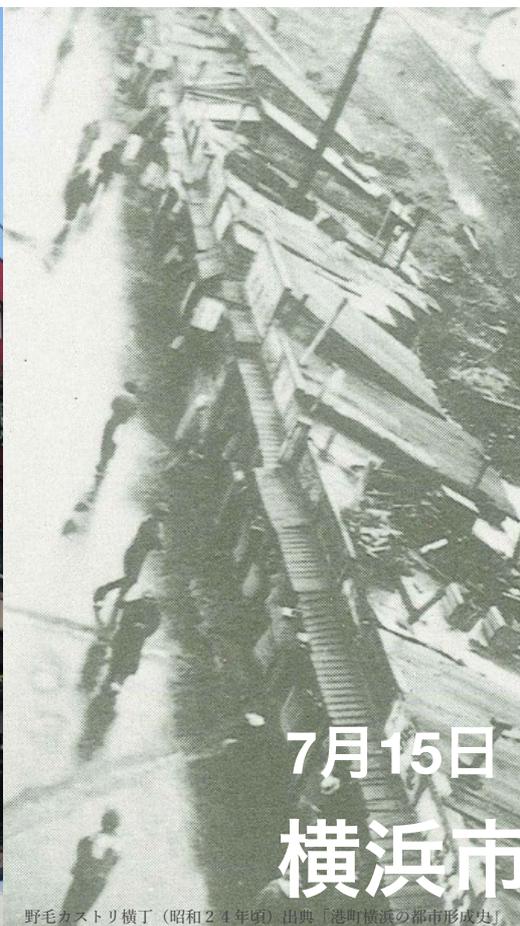


いぶし銀のまちづくり

～生活・文化の視点から、まちを再評価する～



7月15日 (日) 13:30～16:00
横浜市開港記念会館

野毛カストリ横丁 (昭和24年頃) 出典「港町横浜の都市形成史」

【日時】

平成30(2018)年7月15日

午後1時30分から4時まで

(受付開始：午後1時)

【会場】

横浜市開港記念会館 講堂

(横浜市中区本町1丁目6番地

：国指定重要文化財)

【参加費】 500円

(ヨコハマヘリテイジ会員300円)

※先着200名、事前申込不要

プログラム

1 講演

- ①「横浜の都市計画史とその遺産」
鈴木 伸治氏 (横浜市立大学教授)
- ②「戦後復興のなかの共同建築 鬧市から防火建築帯・防災街区まで」
初田 香成氏 (工学院大学准教授)
- ③「魅力ある港湾都市のあり方 ～海外の港湾都市と横浜の比較～(仮)」
カローラ ハイン氏 (オランダ・デルフト工科大学教授、IPHS 2016 実行委員長)

2 クロストークセッション

講演者3人による、まちづくりの歴史と国内外の他都市との比較から、今後の横浜のまちづくりに対する知見を探ります。

横浜市は開港以来、居留地の整備、港湾機能の拡充、震災復興、戦災復興と重層的な都市計画の取組によりまちづくりが進められ、それぞれの時代を象徴する歴史的建造物が現存しています。

この度、第18回国際都市計画史学会大会 (IPHS 2018) が平成30 (2018) 年7月15日から19日の日程で横浜において開催されることに併せて、今回のセミナーでは、横浜における近現代のまちの発展を都市計画史、つまり、まちづくりの歴史という視点から評価していきます。

具体的には、建物やまちなみの目に見えるデザインだけではなく、つくられた経緯やそれに関わる人々の試行錯誤といった舞台裏をひも解いていきます。

私達が働き、暮らしている横浜のまちを、よりディープに理解するきっかけになるでしょう。

■ 講演者プロフィール

鈴木伸治（すずき・のぶはる）

横浜市立大学国際総合科学部まちづくりコース教授

1968年大阪生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。東京大学大学院を修了後、東京大学助手、関東学院大学工学部助教授、横浜市立大学准教授を経て、2013年より現職。専門は都市計画・都市デザイン・歴史的環境保全。著作に『都市の遺産とまちづくり アジア大都市の歴史保全』（編著、春風社、2017）、『今、田村明を読む』（編著、春風社、2016）、『創造性が都市を変える』（編著、学芸出版社2010）、『都市の風景計画』（共著、学芸出版社、2003年）など。

初田香成（はつだ・こうせい）

1977年、東京都生まれ。工学院大学建築学部建築デザイン学科准教授。IPHS2018組織委員会。専門は都市史・建築史。東京大学工学部都市工学科卒業。東京大学大学院建築学専攻博士課程を修了後、東京大学助教、プリンストン大学客員研究員を経て、2018年より現職。著書に『都市の戦後 雑踏のなかの都市計画と建築』（東京大学出版会、2011年）、編著書に『都市計画家・石川栄耀 都市探求の軌跡』（鹿島出版会、2009年）、『盛り場はヤミ市から生まれた』（青弓社、2013年。同増補版、2016年）など。

Carola Hein（カローラ・ハイン）

デルフト工科大学教授（オランダ）

ハンブルグ、ブリュッセルで大学卒。1995年ハンブルグ芸術上級学校にて学位取得。1995年から1999年まで東京首都大学と工学院大学で戦後の日本都市の復興、西欧からの日本都市計画への影響等を研究。1999年から2014年までプリン・モア大学（2005年から2006年までリンカーン土地政策研究所。2007年グッゲンハイムフェローシップ）。2015年から現職。著書として、Jeffrey Diefendorf, and Yorifusa Ishida (eds.)と共編著として『Rebuilding Urban Japan after 1945』（London: Palgrave Macmillan, 2003）、単著として『The Capital of Europe. Architecture and Urban Planning for the European Union』（Praeger, 2004）他多数。

【国際都市計画史学会（International Planning History Society）】

国際都市計画史学会は、1974年にイギリスで活動を開始したPlanning History Groupを母体として、1993年に設立された都市計画史分野唯一の国際学会です。25か国150名程度の会員が在籍。2年に一度開催される大会は、会員のみならず、世界各国から200名～400名程度の参加者が集まります。当日は、都市計画史に関する研究発表セッションを中心として、大会テーマに沿ったレクチャー、開催都市を中心とした現地視察などを通して、都市計画史分野の研究者同士の議論・交流と、都市計画のあるべき姿を導いていく機会を提供しています。

- 2018年 18回大会 横浜（日本） 7月15日～19日（メイン会場：横浜開港記念会館）
- 2016年 17回大会 デルフト（オランダ）参加者総数472名
- 2014年 16回大会 セント・オーガスティン（アメリカ）
- 2012年 15回大会 サンパウロ（ブラジル）



<お問合せ先>

公益社団法人 横浜歴史資産調査会 事務局
電話・FAX 045-651-1730（月・水・金 9:00-17:00）

E-MAIL yh-info@yokohama-heritage.or.jp

横浜市 都市整備局 都市デザイン室
電話 045-671-3850 FAX 045-664-4539
（月～金 8:45-17:15）